

リーディングDXスクール事業【AIパイロット校】

鹿児島市立鹿児島商業高等学校（鹿児島県）【指定校】

＜教育利用＞ ① 情報活用能力調査の結果および今年度の取組をもとにしたSWOT分析

情報活用能力調査結果および本校の今年度の活動を生成AIを活用しSWOT分析を行った。

Strengths（強み）	Weaknesses（弱み）
情報リテラシー教育の強化: 全学年で情報リテラシーに関する授業を実施しており、生徒の情報の信頼性判断能力が向上している。	一部の生徒の低評価: 全ての生徒が高い評価をしているわけではなく、一部の生徒にはさらなる支援が必要である。
ICTの活用: 授業でのタブレットやパソコンの使用が推進されており、生徒のデジタルツール活用能力が高まっている。	教員の負担: 教員の研修やICT活用の推進により、教員の負担が増加している可能性がある。
プロジェクトベースの学習: 実践的なプロジェクトを通じて、生徒が情報を収集・分析し、プレゼンテーションを行う機会が増えている。	個別指導の必要性: 情報の信頼性判断やデジタルツールの活用において低評価の生徒に対する個別指導が必要である。
Opportunities（機会）	Threats（脅威）
オンライン教材の充実: 生徒の自主学習を支援するためのオンライン教材や学習アプリの提供を拡充することで、学習効果を高めることができる。	技術の進化: ICT技術の進化が早く、教員や生徒が最新の技術に追いつくことが難しい場合がある。
教員のスキル向上: 教員の研修を通じて、最新のICTツールや教育方法を学ぶ機会を増やすことで、教育の質を向上させることができる。	デジタルデバйд: 生徒間でのデジタルデバйд（技術格差）が広がる可能性があり、全ての生徒が平等に学習機会を得られないリスクがある。
地域連携: 地域の企業や大学と連携し、実践的な情報活用能力を養うためのプログラムを導入することができる。	プライバシーとセキュリティ: デジタルツールの使用に伴うプライバシーやセキュリティの問題が発生する可能性がある。

リーディングDXスクール事業【AIパイロット校】

鹿児島市立鹿児島商業高等学校（鹿児島県）【指定校】

＜教育利用＞ 情報活用能力調査の結果および今年度の取組をもとにしたSWOT分析

【クロス分析】クロス分析は、SWOT分析の各要素を組み合わせ、戦略的な方向性を見出すための手法である。

Strengths × Opportunities（強み × 機会）

- ・ **情報リテラシー教育の強化** × **オンライン教材の充実**: 生徒の自主学習をさらに支援し、情報活用能力を高めることができる。
- ・ **ICTの活用** × **教員のスキル向上**: 教育の質を向上させ、生徒のデジタルツール活用能力をさらに高めることができる。
- ・ **プロジェクトベースの学習** × **地域連携**: 実践的な情報活用能力を養うためのプログラムを導入し、生徒の学習意欲を高めることができる。

Strengths × Threats（強み × 脅威）

- ・ **情報リテラシー教育の強化** × **技術の進化**: 情報リテラシー教育を強化することで、技術の進化に対応できる生徒を育成し、最新の技術に追いつくための基礎を築くことができる。
- ・ **ICTの活用** × **デジタルデバインド**: 授業でのICT活用を推進することで、デジタルデバインドを縮小し、全ての生徒が平等に学習機会を得られるようにすることができる。
- ・ **プロジェクトベースの学習** × **プライバシーとセキュリティ**: プロジェクトベースの学習を通じて、プライバシーやセキュリティの重要性を教え、生徒がデジタルツールを安全に使用できるようにすることができる。

Weaknesses × Opportunities（弱み × 機会）

- ・ **一部の生徒の低評価** × **オンライン教材の充実**: 低評価の生徒に対してオンライン教材を提供し、個別の学習支援を行うことで、情報活用能力の向上を図ることができる。
- ・ **教員の負担** × **教員のスキル向上**: 教員の研修を通じてスキルを向上させることで、教員の負担を軽減し、効率的な授業運営を実現することができる。
- ・ **個別指導の必要性** × **地域連携**: 地域の企業や大学と連携し、個別指導のプログラムを導入することで、低評価の生徒に対する支援を強化することができる。

Weaknesses × Threats（弱み × 脅威）

- ・ **一部の生徒の低評価** × **技術の進化**: 技術の進化に対応できない生徒に対して、個別のサポートを強化し、技術格差を縮小する必要がある。
- ・ **教員の負担** × **デジタルデバインド**: 教員の負担が増加することで、デジタルデバインドが広がるリスクがあるため、効率的なICT活用方法を模索する必要がある。
- ・ **個別指導の必要性** × **プライバシーとセキュリティ**: 個別指導を行う際に、プライバシーやセキュリティの問題に注意し、生徒の安全を確保する必要がある。

このクロス分析を基に、**強み**を活かし、**機会**を最大限に利用しながら、**弱み**や**脅威**に対処するための教育活動を展開していくことが重要である。